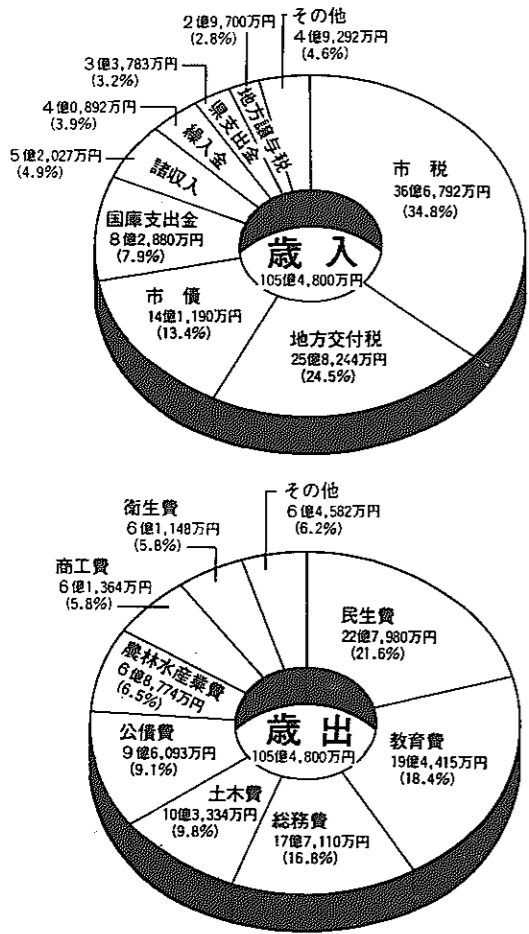
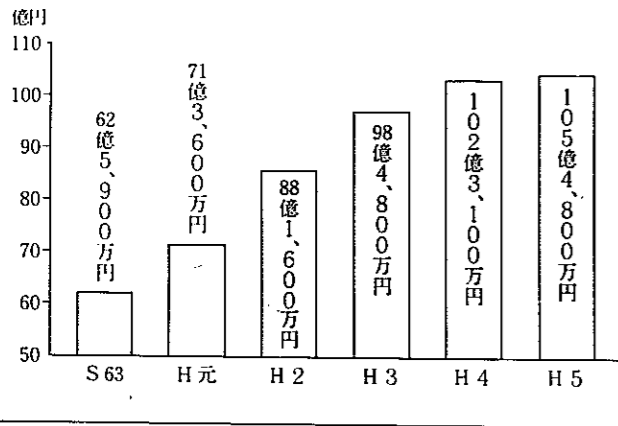


一般会計予算の内訳



一般会計当初予算の推移



一般会計当初予算
105億4,800万円で
スタート

普通建設事業費
大幅に増加

五年度の一般会計当初予算は、百五億四千八百万円スタート。前年度当初予算に比べて伸び率で三・一％、金額では三億一千七百万円の増加です。歳出では普通建設事業費に三十一億四千七百万円を計上しました。前年度に比べ、六億九千四百万円（二八・三％）の大幅な増加になっています。これは白井小学校と戸石小学校の統合に伴う白井小学校建設事業、白井バイパスの建設に伴う移転改築と季節保育所の統合

を図る白井保育園建設事業、それらの建設に伴う用地取得造成などが主な要因。そのほか白根総合公園に建設するナイター照明付きテニスコートとテニスハウス、農業生産基盤や農村環境を整備する農村総合整備モデル事業、「しろね大風と歴史の館」の建設など、まちづくりの基盤となる施設の建設を行うことになっています。歳入では市税収入を、前年度比一・二％増の三十六億六千八百万円としました。そのうち個人市民税や固定資産税収入では増加を見込んでいますが、法人市民税については景気の低迷か

ら三六・二％の大幅な減収を見込んでいます。地方交付税は二十五億八千二百万円を計上。前年度より五億三千二百万円余り（一七・一％）の大幅な減収となっています。これは白根衛生センター組合が建設中のごみ処理施設建設費に対する交付税算入が、前年度で終了したことが主な要因です。

厳しい財政状況
弾力化、安定化に努力

近年、市はカルチャーセンターや白根北中学校、白根保育園などの大規模建設事業に、相次いで取り組んできました。そのため四年度末の市債残高は、七十八億九千万円を超える見込みです。この金額は財政健全化計画策定時（昭和五十九年度）の市債残高、七十七億一千万円を上回るもので、財政状況は一層厳しくなっています。このような中で積極的な市政を展開するため、市税や交付税の歳入を最大限に見積もった予算編成を行いました。しかし財源はなお不足するため、財政調整基金などの積立金を取り崩しています。その金額は今年度、二億六千四百万円に上ります。近年市の財政は、その年の歳出をその年の歳入で賄い切れず、基金の取り崩しによってバランスを保っているのが現状です。加えて今後は、各種施設の老朽化に伴う大規模修繕工事に取り組みざるを得ない状況にあります。このことから今後の財政運営に当たっては、より一層経費の節減を図り、財政の弾力化、安定化に努力します。

今、地方の時代といわれる中で、特色ある自主的な地域づくりが求められています。創意と工夫をこらした個性豊かなまちづくりを進める中で、市民の期待にこたえるよう、二十一世紀に向けた着実な市勢の発展に努力します。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



個性とゆとりの21世紀へ
いきいき白根の創造を

3月5日、平成5年第2回市議会定例会が招集されました。竹内市長は施政方針演説で「就任後、時間的余裕のない中で編成した予算だが、これまでの経過を配慮し、社会経済情勢に即応した施策への重点的、効率的な財源配分に努めた。市民参加による開かれた行政を進め、ゆとりある個性豊かなまちづくりを目指したい」と決意を述べ、市民の皆さんに理解と協力を求めました。5年度一般会計当初予算は105億4,800万円で、前年度比3.1％の増加。予算と主な施策を3～9ページでお知らせします。

- 開かれた市政の推進
- 各種整備計画の作成
- 教育・福祉環境の整備
- ふるさとづくり事業の推進
- 産業・都市基盤の整備